

学生の教育課程全体を通じた成長実感等の分析結果（令和4年度卒業生調査）

この資料は、令和4年度に全学部2年生以上を対象に教務委員会が実施した「学修到達度調査」の回答のうち、令和4年度卒業生の分を取り出して分析したものです。

「学修到達度調査」には次の設問が含まれていますが、この資料では(a)の自己評価のみの分析を行っています。

- (a) 本学卒業認定・学位授与の方針に基づく学位授与の可否の判定の指針として用いている「青森大学学修達成度評価ルーブリック」で定義した4観点・11の力（レベル0～4）の自己評価
- (b) 4観点・11の力のうち、昨年度以降に伸ばせたもの（複数回答）
- (c) 4観点・11の力のうち、今後伸ばしたいと考える力・理由（複数回答、卒業年次以外）
- (d) 社会と関わる諸活動の取組み状況

「青森大学学修達成度評価ルーブリック」の4観点とそれぞれに含まれる力の構成は、次のようになっています。

観点1. 生涯をかけて学び続ける力

自主的に学ぶ力、学修を継続する力

観点2. 人とつながる力

信頼を築く力、協働する力、表現する力

観点3. 自分自身を見据え、確かめる力

課題を発見する力、計画を策定する力、目標に向けて成し遂げる力

観点4. 専門的知識・技能を活用する力

基礎的知識・技能の理解(Idea)、知識・技能の修得(Connections)、知識・技能の活用(Extensions)

4観点に関して、レベルの加重平均を学部別に示したのが、図1です。観点ごとにその中に含まれる力の数が異なるため、各観点が0～4にそろそろよう平均値を求めています。

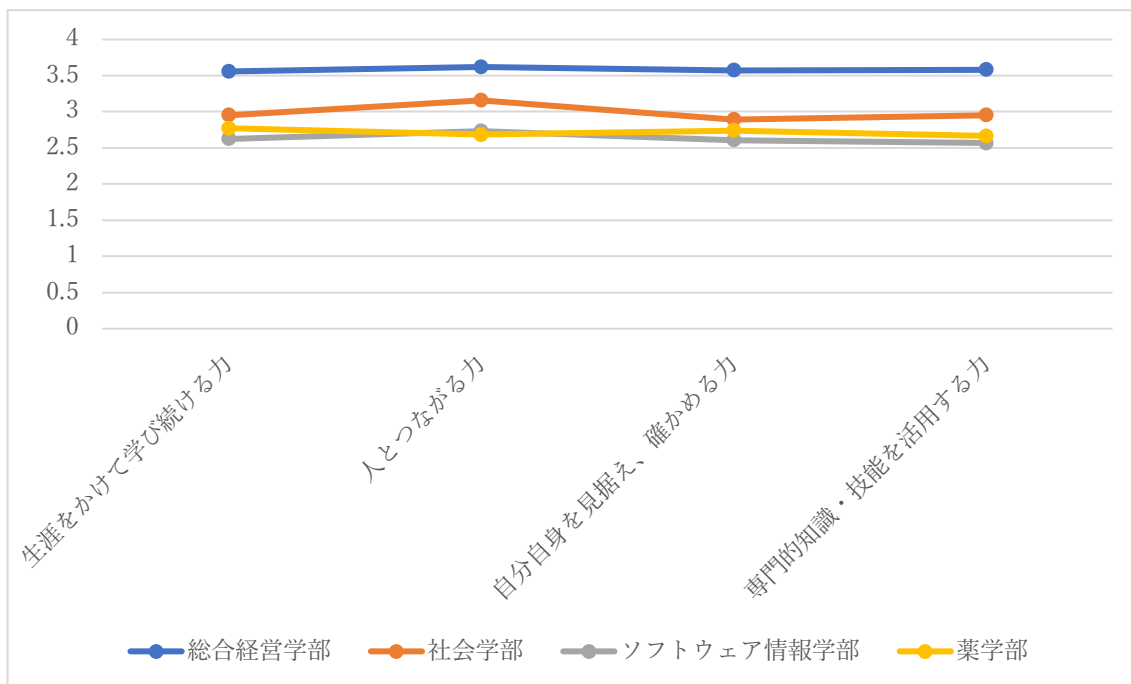


図1 学部別の各観点の加重平均

総合経営学部は全体的に3.5程度と高い値となっていますが、その他の3学部も概ね2.5以上と比較的高い値となっています。また、社会学部の中で「人とつながる力」が高めで「自分自身を見据え、確かめる力」が低めになっている以外は、いずれの学部でも観点間の差はほぼ見られない結果となりました。

4観点について、それぞれに含まれる力を足し合わせた値をまとめたのが、図2～5です。生涯をかけて学び続ける力には二つの力しか含まれていないため最大で8、その他の観点ではそれぞれ三つの力が含まれているため最大は12となっています。

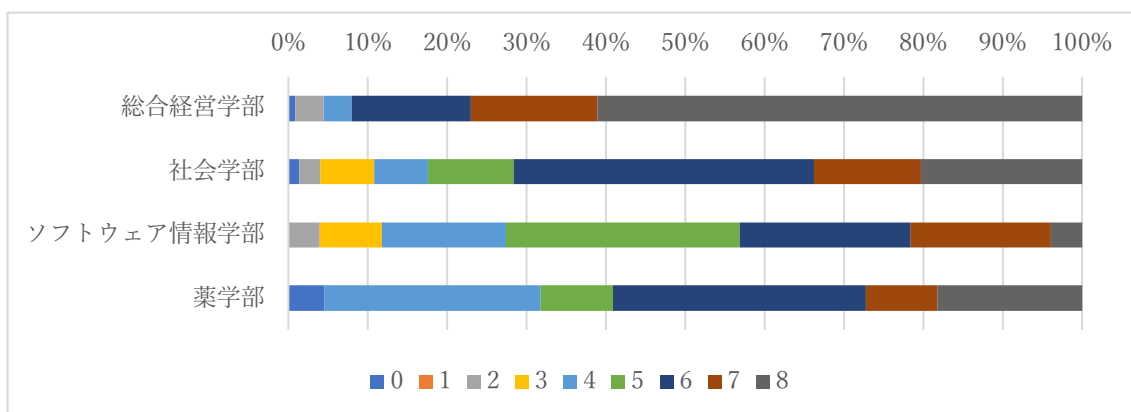


図2 観点1.「生涯をかけて学び続ける力」の回答状況

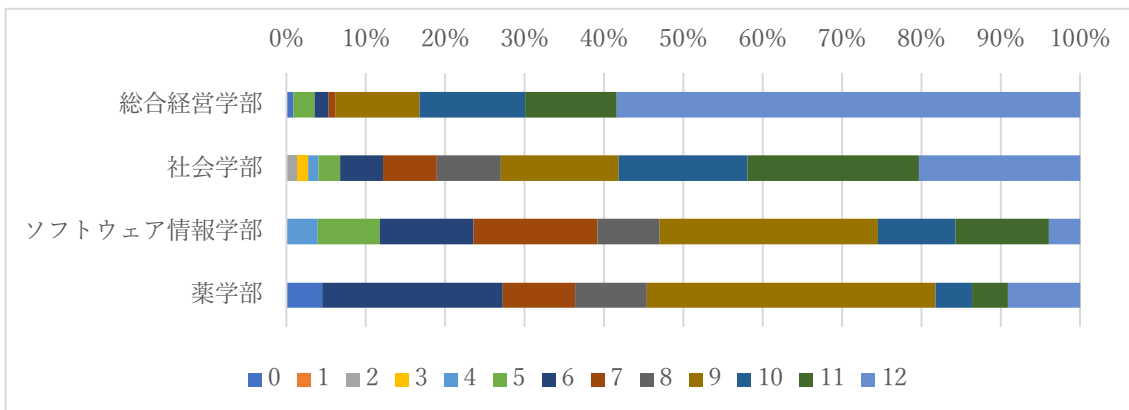


図3 観点2.「人とつながる力」の回答状況

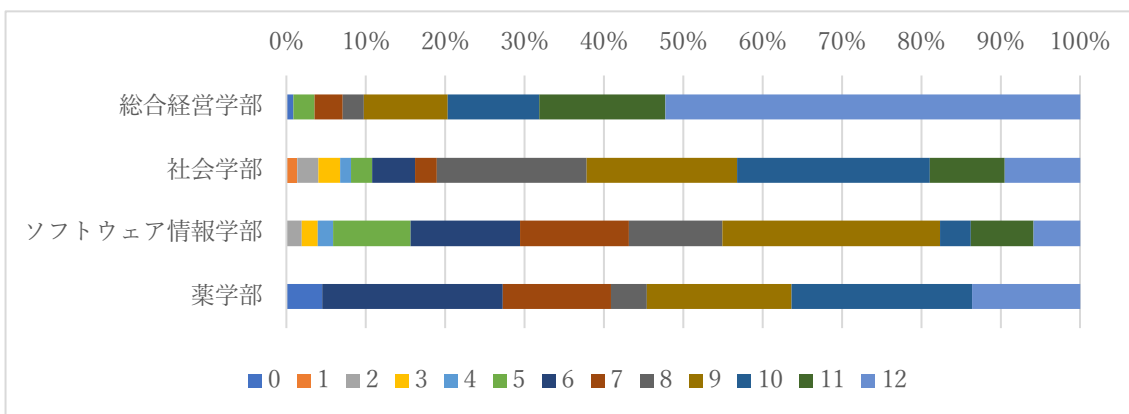


図4 観点3.「自分自身を見据え、確かめる力」の回答状況

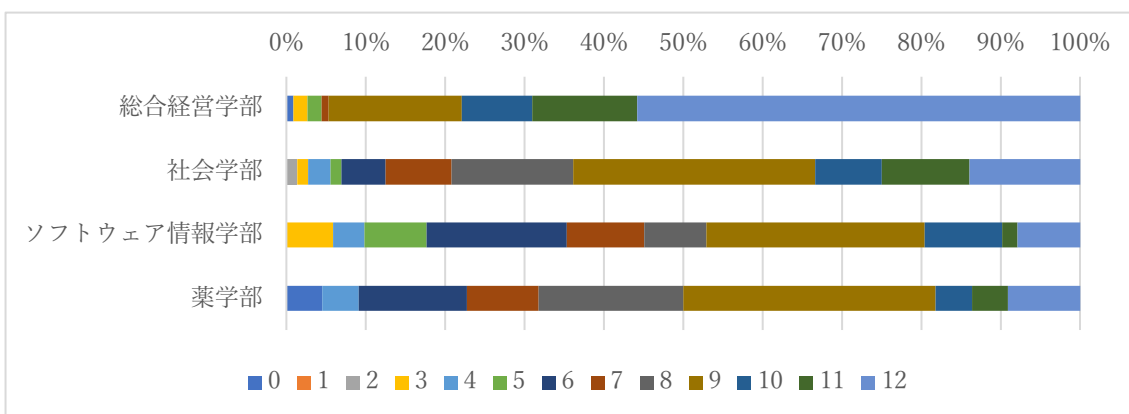


図5 観点4.「専門的知識・技能を活用する力」の回答状況